

2021年9月24日

各 位

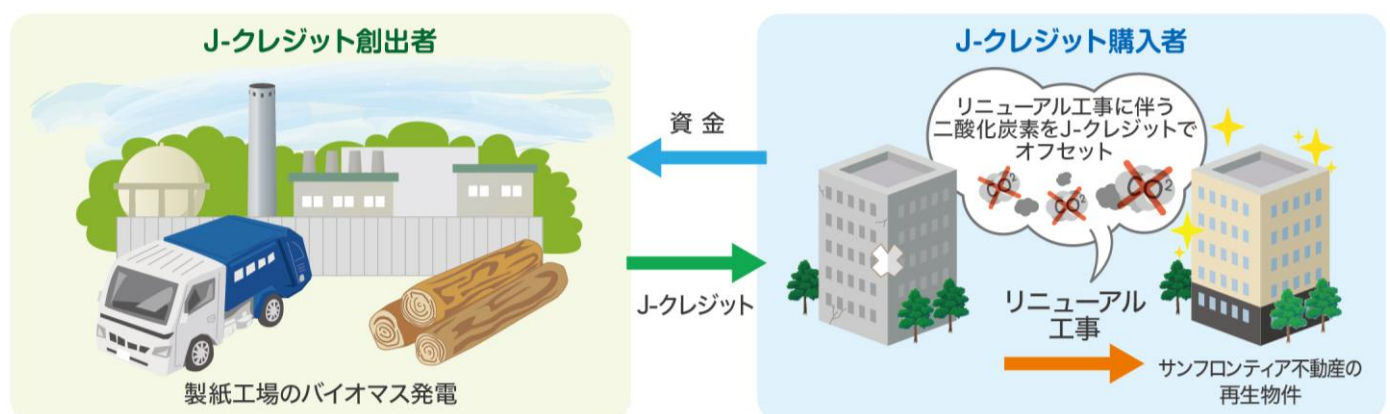
サンフロンティア不動産株式会社  
(コード番号：8934 東証第一部)

## ～ 再生可能エネルギー由来の J-クレジットを活用し、カーボン・オフセット ～ 不動産再生工事におけるゼロカーボンを実現

このたび、当社が手掛けるリプランニング®（不動産再生）物件のリニューアル工事において排出される二酸化炭素を、再生可能エネルギー由来の J-クレジットを活用しオフセット、二酸化炭素排出を実質ゼロとする取り組みを開始いたしましたので、お知らせいたします。



### 再生可能エネルギー由来のJ-クレジットによるカーボン・オフセットの仕組み



当社では、「再生不可能な資源の無駄遣いをおさえ、永続的な地球上の人類や動植物の繁栄に寄与する」という企業哲学のもと、20年超にわたり東京都心の中小型オフィスビルの再生事業に取り組んでおります。（不動産再生実績 432 件、2021 年 6 月末日時点）

このたび、当社リプランニング®物件におけるリニューアル工事（外壁補修工事、内装改修工事、電気設備・空調換気設備・衛生設備改修工事）に伴う二酸化炭素排出量を算出し、その排出量相当を再生可能エネルギー由来の J-クレジットを活用しオフセットすることにより、実質ゼロカーボンを実現いたします。

本取り組みは、2021 年 8 月以降に竣工するすべてのリプランニング®物件に導入いたします。※1

本取り組みを通じ、地球温暖化対策・気候変動問題の解決に貢献するとともに、当社リプランニング®物件のさらなる付加価値の創出をいたしてまいります。

今回調達したJ-クレジットは、新東海製紙株式会社（静岡県島田市）の製紙工場において、ボイラーの熱源を従来用いていた油燃料から、街路樹の剪定材や建築廃材の木質チップ燃料（バイオマス）に切り替えることにより創出された再生可能エネルギー由来のJ-クレジットです。

当社では、日本建築学会のLCAツール<sup>※2</sup>を応用しリニューアル工事にかかる二酸化炭素排出量を算出し、その排出量相当を、再生可能エネルギー由来のJ-クレジットで調達することとし、このたび、2021年8月に竣工した「AKIHABARA CENTRAL SQUARE」、「TERRA PORT MEGURO」において、100%カーボン・オフセットを実現いたしました。

今後も、既に取り組みを開始しているRE100（導入実績12棟）や森のでんき（導入実績7棟）の導入推進やさまざまなエネルギー調達方法の研究と併せ、脱炭素への取り組みをさらに強化し、持続可能な社会の構築に向けた活動を推進いたしてまいります。

## ■2021年8月竣工／不動産再生工事におけるゼロカーボンを実現したリプランニング®物件の概要

	AKIHABARA CENTRAL SQUARE	TERRA PORT MEGURO
		
所在地	東京都中央区神田佐久間町	東京都目黒区下目黒
竣工	1985年9月	1992年10月
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
規模	4階建	地下1階付5階建
延床面積	1,333.54 m <sup>2</sup>	618.61 m <sup>2</sup>
リニューアル工事における二酸化炭素排出量 (LCAツールで算出)	23.51t	11.12t

以上

※1 J-クレジットの由来は変更となる可能性があります。

※2 日本建築学会「建築物のLCAツール ver5.1.0」

<本件のお問い合わせ先>

サンフロンティア不動産株式会社 経営企画部

TEL: 03-5521-1551 / E-mail: [ir-contact@sunfrt.co.jp](mailto:ir-contact@sunfrt.co.jp)